

# 第4章

## 由布市の自然



## 挟間地域

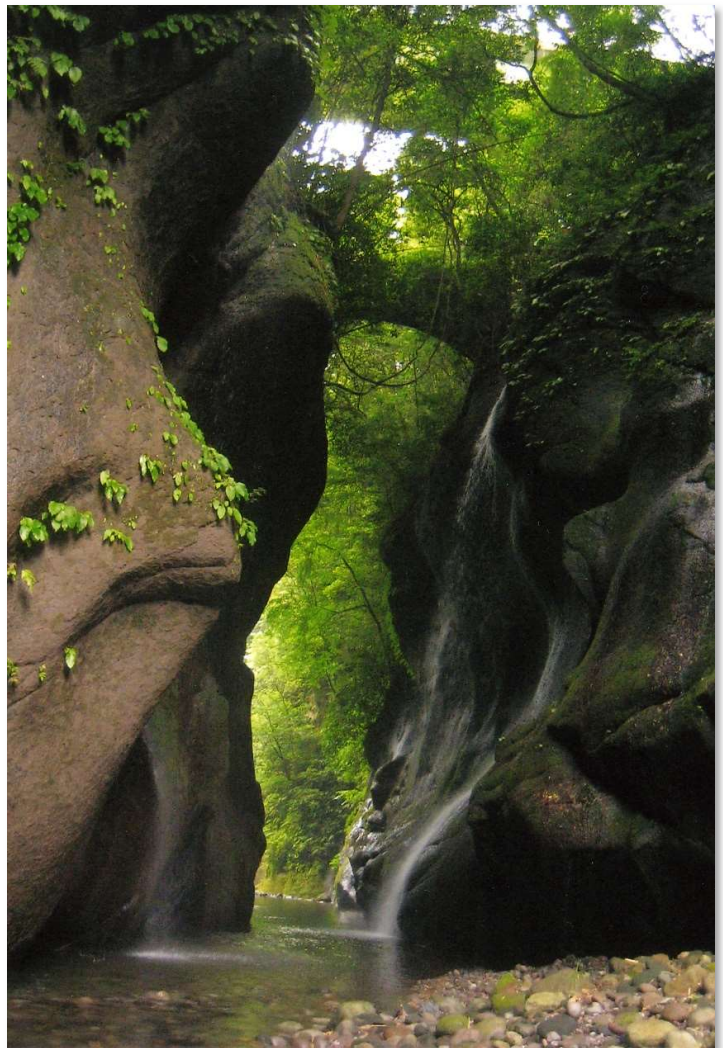
### ゆふがわきょうこく 由布川峡谷

県指定文化財【名勝】昭和 34(1959)年 3月 20日指定

ゆふがわきょうこく おおいたがわ しりゅう ゆふがわ しょうりゅう ちゅうりゅう なが  
由布川峡谷は、大分川の支流となっている由布川の上流、中流の長さ  
やく きょうこく たに はば せま りょうがん  
約12kmの峡谷です。谷の幅は4mから10mと狭く、両岸はがけのよ  
うになっていて、低いところでも10m、高いところでは80mにもなり  
ます。谷のそこは、夏は涼しく、冬はあたたかく感じられます。一年中  
しめっていて、そういった場所を好む植物がみられます。めずらしい鳥  
とり  
もおお せいそく わ なが お みず  
も多く生息しています。さまざまに分かれて流れ落ちる水や、しなや  
かな岩肌は天然の芸術作品で、「東洋のチロル」と呼ばれています。

### 貴重な地質がみられる場所

由布川峡谷は、由布川火砕流により厚く堆積した火砕流堆積物を由布川が長い時間をかけて浸食されたことによって形成された峡谷です。切り立った崖からは、火砕流堆積物の特徴でもある小さな軽石をたくさんみることがができます。このように、由布川峡谷は地質学的にも観察しやすい環境がある、貴重な学びができる場所になっています。



## オトメクジャク

この植物は、日本では大分県でしか確認されていないシダ植物で、安心院の一部と挾間の一部でしかみることができません。オトメクジャクが好んで生育する石垣などが減っているため、絶滅が心配されています。



## マツバラ

挾間地域の鬼瀬周辺に、マツバラの群落があります。この植物は、根も葉もない茎だけの原始的な植物で、「生きた化石」とも言われています。黄色い実のようなものは「孢子」がはいっている袋です。



まだいる! 貴重な生き物たち

### ヒゴタイ

夏に青紫色の球のような花を咲かせるヒゴタイは、西日本より南のごく一部でしかみることができません。このため、環境省が絶滅危惧種として指定しています。由布市では由布岳等で美しい姿をみることができます。



### カヤネズミ

我が国で確認されているネズミの中で、最も小さいネズミです。カヤヤススキなどのイネ科の植物が多く生えている草原や河原などにすみますが、そのような場所が減っているため、なかなかみることができません。

### ブツポウノウ(仏法僧)

営巣に適した老木が少なくなったことで、生息数が減少しており、環境省、大分県ともに絶滅危惧IB(EN)に指定されています。日本では、夏鳥として、本州、四国、九州で繁殖をしています。庄内地域においても、飛来が確認されています。



## 庄内地域

### なかとみじんじゃ しんぼく 中臣神社の神木アカガシ

市指定重要文化財【天然記念物】  
平成 19 (2007) 年 6 月 29 日指定

木の高さは 18m、胸の高さでの幹の太さは 4m65cm、枝張り南北 22m を測る。古木であることと、かつての植生の様相を伝える貴重なものです。



### おいけゆうすいぐん 男池湧水群

「日本の名水 100 選」に選ばれた男池は、黒岳の登山口のそばにあります。青くすき通る水がとても美しいです。黒岳にふった雨が 1 年ほどかけて、ミネラルをたっぷり含んでわき出てきます。近年ではペットボトルでも販売されています。



### めいすい たき 名水の滝

名水の滝は、男池の下流にある、湧水をたっぷり含んだ滝です。庄内地域の阿蘇野地区にあります。夏になると滝の周辺はひんやりとしてきもちよくすごせます。男池から遊歩道で森林浴をしながらあるくことができます。



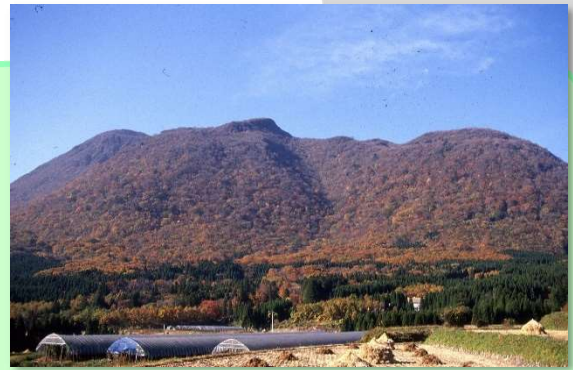
くろだけ ひょうこう  
**黒岳(標高1,587m)**

「21世紀に残したい日本の自然100選」  
昭和58(1983)年1月1日指定

お いけ ゆうすい めいすい たき うつく  
男池湧水や名水の滝など美しい  
しぜん う だ くろだけ  
自然を生み出したのが黒岳です。く

じゅう連山の東にあり、阿蘇くじ

ゅう国立公園に指定されています。登山道にはシャクナゲがさき、  
ちゅうぶく しぜん れいぞうこ ふうけつ  
中腹には自然の冷蔵庫としてつかわれていた風穴があります。「21世  
き のこ にほん しぜん せん せんてい  
紀に残したい日本の自然100選」に選定されました。



くろだけ しぜんりん  
**黒岳の自然林**

大分合同新聞選定「大分百景」  
昭和37(1962)年11月3日

くろだけ やま ぼっさい さいがい しんりん  
黒岳の山は伐採や災害などで森林  
はかい ひと て くわ  
破壊されることなく、人の手も加え  
られていない自然のままの森林  
げんせいりん おお  
(原生林)で覆われていることから、

「大分百景」に選ばれています。ブナ・ケヤキ・オヒョウ・ミズメ・  
シデ・コナラのほかに 5月・6月には鮮やかなピンク色に咲いたツク  
シシャクナゲやミヤマキリシマ、秋にはカエデ類が紅葉を楽しませて  
くれます。



けいせんきょう  
**溪仙峡**

けいせんきょう あ その がわ そ たに  
溪仙峡は、阿蘇野川沿いにある谷で、  
よ み と けいこく よ  
夜見渡溪谷とも呼ばれています。

けいこく た なら いわはだ  
溪谷にはケヤキが立ち並び、岩肌が  
むきだした丘におか  
むきだした丘にモミジやシャクナ  
ゲがおいしげり、季節によって、そ  
すがた か やちよう おお  
の姿を変えます。また、野鳥が多く

あつ たの  
集まるため、バードウォッチングを楽しむこともできます。



## 湯布院地域

### ゆふだけ 由布岳

ゆふいんえき お ゆふいん おく み うつく やま ゆ  
由布院駅を降りてすぐ、由布院のまちなみの奥に見える美しい山が由  
ふだけ ひょうこう さんちょう わ とくちょう  
布岳です。標高は1,584mで、山頂が2つに分かれているのが特徴で  
す。そうたい すがた ふんごふじ よ ふる さんかくしんこう たいしやう  
す。壮大な姿から「豊後富士」と呼ばれ、古くから山岳信仰の対象と  
されてきました。まいとし がつじやうじゆん やまびら あんぜんきがん おこな いちねん  
毎年5月上旬に山開きと安全祈願が行われ、一年を  
けんないがい おお ひと やまのぼ  
つうじて、県内外から多くの人が山登りにおとずれます。



### 由布岳の恋ものがたり

今よりもずっと昔、由布岳と祖母山が鶴見岳に恋をしました。お互い鶴見岳を手に入れるために勝負しますが、決着がつかず、最終的に鶴見岳に選んでもらうことになります。鶴見岳が選んだのは由布岳。悲しみに暮れた祖母山は大粒の涙を流し、それが今の志高湖になったと言われていす。鶴見岳と由布岳の仲は今もアツアツなため、別府と由布院には熱い温泉が湧き続けていると言われていす。



## オンセンミズゴマツボ

県指定文化財【天然記念物】平成 27 (2015) 年 2 月 24 日指定

オンセンミズゴマツボは、<sup>おとな</sup>大人になっても 4 ミリぐらいにしかならない、<sup>ちい</sup>小さな<sup>まきがい</sup>巻貝です。とても<sup>めずら</sup>珍しい<sup>い</sup>生き物である理由は、<sup>りゆう</sup>温泉の中で<sup>い</sup>しか<sup>おんど</sup>生きる<sup>やく</sup>ことができないからです。その<sup>おんど</sup>温度は約 37℃。このように<sup>たか</sup>高い<sup>おんど</sup>温度の<sup>まみす</sup>真水に住んでいる<sup>す</sup>貝は<sup>かい</sup>世界でも、この<sup>せかい</sup>オンセンミズゴマツボだけです。かつては<sup>ほうせんじおんせん</sup>宝泉寺温泉（<sup>このえまち</sup>九重町）や<sup>かなわおんせん</sup>鉄輪温泉（<sup>べっふし</sup>別府市）などにも<sup>せいそく</sup>生息が<sup>かくにん</sup>確認されていましたが、<sup>う</sup>埋め立てなどにより<sup>き</sup>消えてしまいました。今では<sup>いま</sup>世界中でも、<sup>せかいじゅう</sup>金鱗湖の<sup>きんりんこ</sup>まわりの<sup>すいろ</sup>水路のみでしか<sup>み</sup>みる<sup>こと</sup>ができません。このことから、平成 22 (2010) 年に「<sup>おおいたけん</sup>大分県<sup>しやう</sup>希少<sup>やせいどうしょくぶつ</sup>野生動植物の<sup>ほご</sup>保護に関する<sup>かん</sup>条例<sup>じょうれい</sup>」に登録され、平成 27 (2015) 年には<sup>おおいたけん</sup>大分県の<sup>てんねんきねんぶつ</sup>天然記念物に<sup>してい</sup>指定されました。

### 貴重な生き物「オンセンミズゴマツボ」

平成 24 (2012) 年から由布市役所環境課の中で飼育実験がはじまったよ。約 2 か月で 30 匹を 200 匹に増やすことができたよ。この実験で、オンセンミズゴマツボの寿命や嗅覚があることがわかったんだ。(平成 27 (2015) 年に飼育実験は終わっています。)



寿命は 6 か月～8 か月だよ。  
嗅覚があるから、おいしいえさをすぐに見つけられるよ。



## ぶっこうじ 仏光寺のイチヨウ

市指定重要文化財【天然記念物】  
平成 19(2007)年 6月 29日指定

木の高さは 26.5m、胸の高さでの幹の太さは 5m33cm、とイチヨウとしては大木です。イチヨウは「生きた化石」とも呼ばれています。



## きんりんこ 金鱗湖

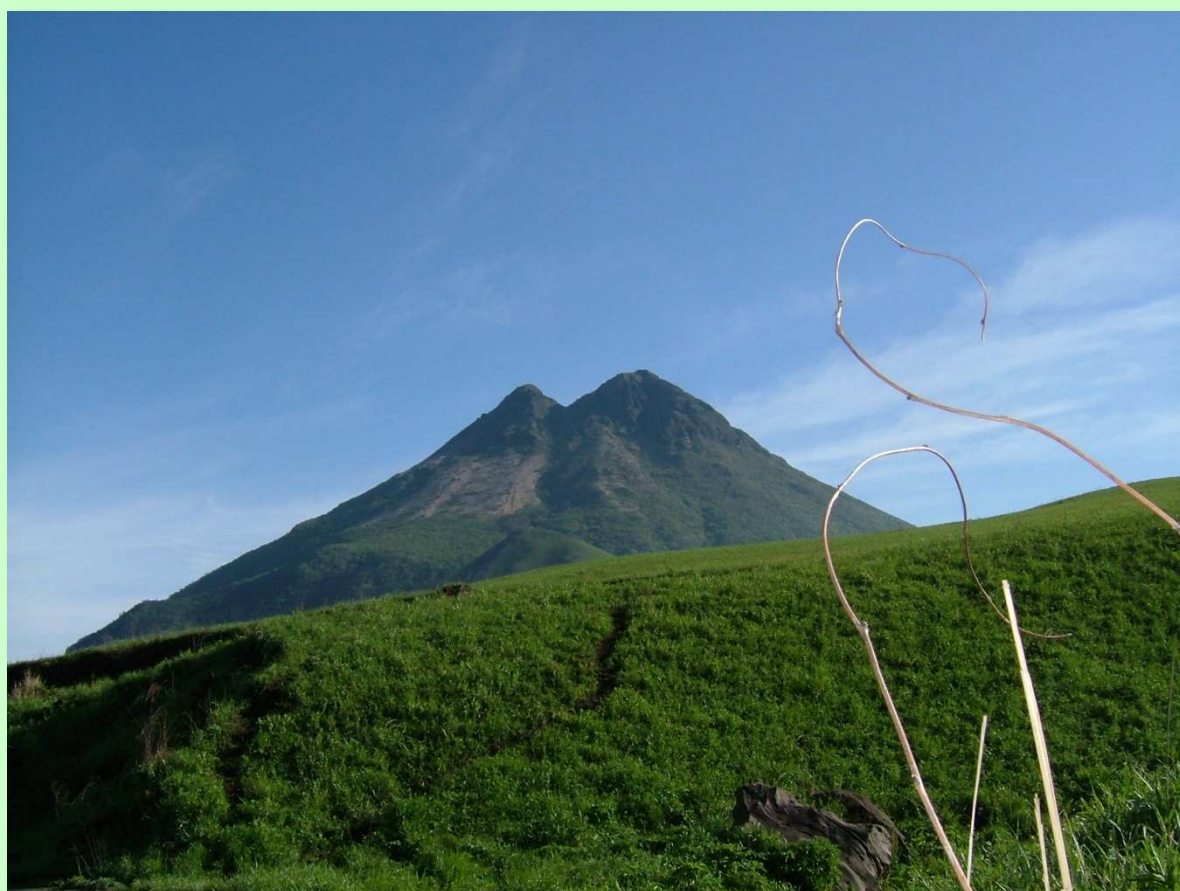
由布院を代表する観光スポットの一つが金鱗湖です。名前の由来は、明治のはじめ儒学者・毛利空桑が、湖で泳ぐ魚のうろこが夕日で金色に輝いていたためとされています。清水と温泉が湖に流れ込んでいると言われており、一年中水温が高い金鱗湖では冬のはやい朝、湯気がたちのぼる幻想的な光景を見ることができます。





## あそ こくりつこうえん 阿蘇くじゅう国立公園

あそ こくりつこうえん くもとけん おおいたけん きゅうしゅう なか  
阿蘇くじゅう国立公園は熊本県と大分県にまたがる九州のまん中に  
いち こくりつこうえん そうめんせき  
位置する国立公園です。総面積は、72,678 ヘクタールあります。お  
おきく 3 のエリアにわかれています。1 つ目が、くもとけん あそさん ちゅうしん  
とした地域、2 つ目がくろだけ れんざん、そして、3 つ目がゆふ  
だけ つるみだけ かざん ちゅうしん やま  
岳と鶴見岳といったいとなっています。すべて火山を中心にした山で、  
そのまわりにはゆうだい そうげん とくちょう  
そのまわりには雄大でなだらかな草原がひろがっているのが特徴です。



おおいたがわ  
大分川

おおいたがわ おおいたけん ま なか なが いっきゅうかせん じょうりゅう かりゅう  
大分川は大分県の真ん中を流れる一級河川です。上流から下流まで  
なが りゅういきめんせき ゆふだけ にしがわ ゆふいん  
の長さは55kmで、流域面積は650km<sup>2</sup>。由布岳の西側から、由布院  
ほんち なんとう なが しょうないちいき あそのがわ せりがわ ごうりゅう  
盆地を南東に流れながら、庄内地域の阿蘇野川、芹川などと合流し、  
おおいたし べっぶん なが ゆふし  
大分市のまちなかをとおり、別府湾に流れこんでいます。由布市の  
せいかつ ひつよう みず おお おおいたがわ きんねん  
生活のなかで必要となる水の多くを大分川にたよっています。近年、  
むかし すく あわ う かわ  
「昔にくらべてホタルが少なくなった」「泡が浮いている」など、川の  
すいしつ わる しんばい こえ おお  
水質が悪くなっているのではと心配する声が多くよせられています。  
じゅうみん しゅたい ゆた みずかんきょうそうしゅつ かいぎ せつりつ  
そこで、住民が主体となり、「豊かな水環境創出ゆふいん会議」が設立  
されました。ゆふし なが おおいたがわ かんきょう まも  
されました。由布市をつらぬいて流れる大分川の環境を守るために  
かっとう  
活動しています。

●調べてみよう、やってみよう！●

- |   |                      |
|---|----------------------|
| 1 | 大分川の源流がどこにあるか調べてみよう。 |
|---|----------------------|



～大分川の源流(由布院)～



～大分川の中流(小野屋)～

# 由布市のたくさんの温泉



## 湯布院地域



全国で有名な温泉地です。「塚原温泉」「由布院温泉」「湯平温泉」<sup>4</sup>という3つの温泉地があり、それぞれ違った温泉を楽しむことができます。共同浴場もたくさんあるので、温泉めぐりが楽しめます。

## ゆふいんおんせん きょうどうよくじょう 由布院温泉の共同浴場

きょうどうよくじょう ちいき ひと かんり おんせんしせつ ゆふいん  
共同浴場とは、地域の人たちで管理している温泉施設です。由布院には、  
きょうどうよくじょう おんせん えん はい  
4つの共同浴場があります。どの温泉も200円で入ることができます。



おつまるおんせんかん  
～乙丸温泉館～  
(そのほかに、かせい ゆががあります。)



した ゆ  
～下ん湯～



ゆのつぼおんせん  
～ゆのつぼ温泉～



## 由布市の情報発信ツール 由布市ポータルサイト「ゆふポ」ができました!



由布市の暮らし・防災・観光情報をわかりやすくまとめた「由布市ポータルサイト」(通称「ゆふポ」)を公開しています。  
由布市に訪れた人も住んでいる人も役立つ情報を掲載しています。  
「ゆふポ」で由布市の良いところを知って、由布市をPRしていきましょう。

スマートフォン、タブレットで右記のQRコードを読み取るか、下記アドレスからアクセスしてください。たくさんのご利用をお待ちしています。



ポータルサイト用

<https://www.portal-yufu.jp/>

<sup>4</sup> 温泉地の分類は『おおいた温泉白書』20ページ「大分県の温泉地」を参考。

ゆのひらおんせん  
湯平温泉

江戸時代から有名だった湯平温泉。薬などがあまりなかったこの時代に温泉は最高の治療とされていました。中でも湯平温泉は胃腸病に効くことで有名だったため、温泉地としてさらに発展していきました。今でも湯平の石畳は当時のまま、おもかげを残しています。



湯平温泉と種田山頭火

昭和5(1930)年に俳人・種田山頭火が湯平温泉に宿泊したときに詠んだ「しぐるるや 人のなさけに 涙ぐむ」。この句は、山頭火がかわりに干していたせんたくものを、急にふりだした雨に濡れないようにと、宿の娘が取り込んでおいてくれたことに感激して詠みました。湯平温泉にいくと、この句がきざまれた碑が立っています。

しぐれかん  
時雨館

湯平温泉に泊まった俳人・種田山頭火を記念して建てられた美術館です。自立たない場所にあり建物も古くなったため、平成29(2017)年6月にメインの石畳通りに移転しました。山頭火を題材にした絵や俳句の作品、山頭火の写真を見ることができます。いすやテーブルもあるので、ゆっくりすごすことができます。



お手持ちの携帯端末で  
由布市の情報がもっと見やすく、もっと届く。  
もっと由布市が好きになる。

スマートフォンやタブレットで右記のQRコードを読み取ると公式アプリ「ゆふポ」がダウンロードできます。アプリをダウンロードすると、由布市での暮らしに役立つ「お知らせ」が携帯端末に届きます。暮らし・防災・観光の情報がぎゅっとつままったアプリです。



iOS端末用



アンドロイド端末用



アプリを  
ダウンロード  
してね～!



このマークがある場所では、「無料公衆無線LAN」が利用できます。由布市に訪れた方が、この場所でインターネットに接続することで、宿泊・観光・食の情報を手軽に知ることができます。由布市は観光客の快適な旅をサポートします。

## 寅さんの映画撮影地になった湯平温泉

湯平温泉は昭和 57 (1982) 年 12 月に公開された映画「男はつらいよ」シリーズ第 30 作目の「花も嵐も寅次郎」の撮影地になりました。当時は寅さん役の渥美清さんをはじめ、沢田研二さんや田中裕子さんなど有名な俳優が湯平温泉を訪れ、撮影が行われました。それを記念して、湯平駅のホームの待合所を改装し、ロケ時に使われた写真などを掲示した「寅さん思い出の待合所」として公開しています。実際に映画の中で寅さんが使用した「縁結びのベンチ」も保存されています。



### つかはらおんせん 塚原温泉

つかはらおんせん ゆふだけ きたがわ いち しゅくはくしせつ  
塚原温泉は由布岳の北側に位置しています。宿泊施設はプライベート  
くうかん たいせつ おお つかはらこうげん うつく しぜん なか  
空間を大切にしているところが多いです。塚原高原の美しい自然の中  
には、たち寄り湯やカフェ、工房などがありゆったりとした時間をす  
ごすことができる人気のスポットです。

だいひょうてき おんせん つかはらおんせん かこうのいずみ かざんかつどう つづ がらんだけ  
代表的な温泉は、「塚原温泉 火口乃泉」。火山活動を続ける伽藍岳か  
ら吹き出る温泉は皮ふによく効くとされています。

## 庄内地域

黒岳のふもとには、多くの冷鉱泉（冷たい温泉）や全国でもめずらしい天然の炭酸水<sup>5</sup>がわき出しています。庄内地域の温泉は地域の人々のいこいの場になっています。福祉施設でも、温泉が使われているなど、地域の住民に親しまれています。



## おんせんかん みことピア ほんぼの温泉館

JR久大本線庄内駅のすぐ近くにある、旧庄内中学校の校舎を改装した温泉です。地元の人たちによく利用されています。露天風呂や広々とした内風呂があり、食べ物や飲み物を持ち込んで休憩できる場所もあります。文字通り、ほんぼのと入浴することができます。



## 挾間地域



「挾間八湯」と呼ばれるほど、たくさんの温泉がありました。地元の人たちだけでなく大分市からもたくさんの方が温泉に入りに来ます。温泉の質はとてもよいです。家族で入れるお風呂がある施設も多く人気があります。

<sup>5</sup> 水メディア「天然炭酸水を日本（国産）で採取できる場所や地域と歴史」<https://atz-1.com/?p=2761>

## 由布市から地球を感じる「由布ジオパーク」

「ジオパーク」とは、地球（ジオ）に親しみ、地球を学び、地球を楽しむ場所です。山や川、足元の土や岩をよく見て、その成り立ちや仕組みに気づき、生態系や人間の生活とのかかわりを考える、つまり地球をまるごと考える場所、それが「ジオパーク」です。

私たちの住む由布市にも、実はそんな貴重な場所がたくさんあります。身近な場所をもういちど見わたし、よ〜く観察してみませんか？

### 由布市の地質からみる特徴

由布市には別府市から長崎県島原を走る別府-島原地溝帯に一部の地域がはいつています。そのため、温泉や火山、特殊な堆積構造など、めずらしい自然を見ることができポイントがいくつもあります。なかでも、由布岳は、噴火が約3万5千年以前から始まり、2000年~1500年前にも噴火がおこっています。



主な火口ではない場所からの噴火がおこる側火山も多く形成されています。火山の活動を地形などを通して学ぶことができるため、とても貴重です。別府市や九重町と並び、本市は地質学的にも価値が高い地域とされています。

### つかはらいおうやま がらんだけ ふんき 塚原硫黄山(伽藍岳)の噴気

つかはらいおうやま がらんだけ ゆふし べっふし  
塚原硫黄山(伽藍岳)は、由布市と別府市  
とのさかい近くにある標高1,045mの  
かつかざん やく ねんまえ かんが  
活火山で、約9,500年前にできたと考え  
られます。山の南側には直径約300mの  
かこう じめん あな かせん  
火口があり、地面のヒビや穴から火山ガ  
スなどが噴出しています。1200年前と  
ねんまえ お しょうきほ すいしょうき  
1000年前に起こった小規模な水蒸気  
ばくはつ ふんか かせんばい どせきりゅう たいせき  
爆発や噴火で、火山灰や土石流が堆積したと考えられています。

### 湯布院地域



しょうないちょう あ その けいそうど たいせきこうぞう  
庄内町阿蘇野の珪藻土と堆積構造

庄内地域

あ その けいそうど さいくつじょう  
阿蘇野にある珪藻土採掘場では、  
りょうしつ けいそうど ちそう けいそう せっか  
良質な珪藻土の地層（珪藻が石化する  
ことによってできた地層）を見ることが  
できます。どそう しょくぶつ はな み  
土層には植物の花・実・  
かふん ふく  
花粉を含んでおり、そこからたいせきとうじ  
堆積当時の植物だけでなくきこうし  
気候も知ることができます。



●調べてみよう、やってみよう！●

1	阿蘇野の珪藻土層の観察に行ってみよう。	
2	観察された化石を基に植生や気候について調べてみよう。	

ゆ ぶ が わ き ょ う こ く  
由布川峡谷

挾間地域

ゆ ぶ が わ き ょ う こ く ゆ ぶ が わ か さ い り ゅ う つ  
由布川峡谷は由布川火砕流が積も  
った地面を由布川が長い時間をか  
けて浸食し、つくられた峡谷です。  
しんしよく きょうこく  
切り立った崖からは、火砕流堆積物  
のきょうこく  
特徴でもある小さな軽石をたく  
さんみるすることができます。このよう  
に、ゆ ぶ が わ き ょ う こ く ちしつがくてき  
由布川峡谷は地質学的にも  
かんさつ かんきょう  
観察しやすい環境がある、きちょう  
貴重な  
まな ばしよ  
学びができる場所になっています。

